

やさしい自然派住宅の  
つくりかた

# そざい Sozai Note のーと

vol. 12

『そざいのーと』バックナンバーは  
ホームページをご覧いただけます

『www.saijo-d.com』

## オーガニック建築Ⅱ



左右の土留めには古タイヤやガラス瓶を積んだ壁が、土の屋上には設置されているソーラーパネルが見えます

### アースシップ・ブライ頓

アースシップとは、アメリカで始まり世界中に広がっている環境運動で、自然素材と廃材をリサイクルしてつくられるサステイナブル住宅のこと。小型風車や太陽光パネルで最低限の電気を自給し、雨水を生活用水として利用するための浄化装置が装備され、廃材のタイヤ・ガラス瓶・石材・木材などをフルに使って建てられています。小さなゼロエネルギー建築の

モデルハウスとなつており、現在、世界には1500棟以上建設されています。ロンドンから南へ列車で一時間ほどのリゾート地ブライ頓は、雨が多く曇りがちな英國気候の中でも、温暖で過ごしやすい避暑地として人気の都市です。オーガニックショップやレストランも多いおしゃれな街の郊外に、英國ではスコットランドに続き2件目のプロジェクト『アースシップ・ブライ頓』がありました。

### リサイクル資源で建てた オフグリッドハウス『地球号』

スタンマーパークに入り、柳の枝アートやオーガニックガーデン、ビオトープなどのエリアを抜けると、パツと開けた敷地に不思議な建物が見えました。ホツカーツンプロジェクト同様、北側半分は土に埋まっています。古タイヤに土を詰めて積み上げた土留めとコンクリートの壁に、断熱材を挟み、土をかぶせ、南側をガラス張りにしたパッシブデザイン住宅で

ゴミで作ったアースシップ『地球号』ですが、建築の設計では、英国の建築基準法に見合った技術と、高性能の自給設備を備えています。断熱性能を高め、ソーラー発電と小型風車でエネルギーを自己給し、化石燃料を使わないゼロカーボンを実現。水の循環では、雑排水をリサイクルするシステムが確立され、台所やお風呂で使った排水をプランターや庭に送り、植物の力で濾過させ、水洗トイレに利用。さらに、トイレの汚水も、コンポストによって堆肥となり、土に還されるといった徹底的な循環システムを備えています。キッチンの横の壁には、水の浄化装置とエネルギーのコントロール装置などが、展示するように設置していました。

ここでは、見学ツアー・セルフビルトのワークショップなども行われていて、ガラス瓶やタイヤを使つた壁づくりや、藁を使うストロー・ベイルハウスの作り方など、アースシップで行われているサステイナブル建築の基礎を学ぶこと

文・西條 正幸

自然派空間デザイナー

北海道伊達市出身。

自然と人にやさしい建築デザインを専門とし、建築デザイン事務所ビオプラス西條デザインを主宰。オーガニックな暮らしをライフワークに、仲間との有機農園やマーケットの運営、講演会やワークショップなども企画、開催している。

ができます。  
そして、ついに日本にもアースシップが登場します。徳島県と香川県の県境の山の中に、「Earthship MIMA」が、今春かららいよいよゲストルームとして、体験宿泊が出来るようになります。見学ツアー・建築の相談にも対応、四国旅行の際にはぜひ立ち寄ってみたいスポットですね。

さて次号はいよいよロンドン市のオーガニック建築を紹介します。



ガラス瓶をカットしてテープで止めてから壁に埋め込んでいます

した。室内は、タイルや石材の端材を敷き込み、土壁で仕上げられています。壁に埋め込まれたガラス瓶から差し込む明りも、オブジェのようでGOOD! 瓶の色を組み合わせることで、カラーバリエーションが増やせそうです。